

## 平成 26 年度 校長戦略予算加算配付について

本校では、学校経営の目標である「規律ある学校生活をおくり、互いに学びあい、高めあうことができる子どもをそだてる」をうけ、今年度の運営に関する計画では、「学力の向上」「道徳心・社会性の育成」「健康・体力の保持増進」「研修」の各項目について、中期目標を設定して取り組んでいるところです。

本校の現状と課題を踏まえ、今年度は特に下記の内容に力を入れます。

1. 読書タイムや図書館の活用により、読書意欲を高めて読書量を増やす
2. 「ふれあい相撲」を通して、日本の伝統行事や運動への興味・関心を高めさせる  
また、地域・保護者にも呼びかけ広めていく
3. すすんで周りの人の役に立とうとする気持ちを育てる  
それぞれの違いを認め合い、自分や他人を大切にする心を育てる  
よりよい人間関係を築けるようにする

今年度、加算配付対象校に決定したことを受け、本校では以下のように取組みを行います。進捗状況については、その都度、学校ホームページでお知らせしていきます。

### 1. 読書タイムや図書館の活用により、読書意欲を高めて読書量を増やす

本校は図書館ボランティアの方を中心にして、昼休みに図書館開放を実施している。また、昨年度から 2 年計画でバーコード化を進め、蔵書の管理をしているところである。毎週水曜日の朝の学習には「読書タイム」を位置づけ、子どもたちには、すすんで読書をする習慣が育ちつつある。しかし、学級に置いてある本は、数は多くあるが、かなり古いことと、児童の発達段階にあっていない本が多く配置されているので、せっかくの読書タイムが充実したものになっていない。学級文庫を充実させることで、今以上に子どもたちが進んで読書に親しみ、豊かな情操を養うことができると考える。休み時間などのちょっとした時間に、自分の好きな本と触れ合えることは、児童にとって貴重な体験である。読書習慣を確立することで、言語力が養われ、学力が向上していくと考える。

## 2. 「ふれあい相撲」を通して、日本の伝統行事や運動への興味・関心を高めさせる。 また、地域・保護者にも呼びかけ広めていく

本校は、全国体力・運動能力等調査の結果、長座体前屈以外の項目で、大阪市の平均よりも低い値になっている。特に、20M シャトルランや反復横跳びの結果が思わしくない。そこで、体育部を中心に、児童が興味・関心を持って運動に取り組めるよう工夫しているところである。運動のきっかけに関するアンケートでは、「運動やスポーツで活躍している選手・有名人に教えてもらえたら」と回答する児童が多かった。本校 PTA では、毎年相撲部屋から力士をまねいて、「ふれあい相撲」を開催しているが、本年度から、PTA と共に「ふれあい相撲」を学校行事として全校で取り組み、本校にある土俵を整備していきたいと考えた。地域にある相撲部屋と交流しながら、力士と触れ合うことで、児童は、日本の国技である「相撲」に関心を持つことができると考える。

## 3. すすんで周りの人の役に立とうとする気持ちを育てる それぞれの違いを認め合い、自分や他人を大切にできる心を育てる よりよい人間関係を築けるようにする

本校の児童は学校アンケートの結果を見ると自己肯定感が低いことがうかがえる。また、コミュニケーション力が未熟な児童が多いためか、感情をコントロールすることが難しい児童もいる。これまでの生活経験の中で、成功体験が少ないことや、人間関係をうまく結べないことなどが自己肯定感の低さにつながっていると考えられる。家庭では、母親との良好な関係を築くことが大切であるが、母親に相談する相手が少ないのが現状である。そこで、まず、母親がどんなふうに子どもに接していけばいいかを、「応用行動分析」の考え方をもとにして考える。教職員と共に子どもについて考えていくために、臨床心理士による講演会を計画し、個別に具体的な方法を考え家庭で実践していく「ペアレントトレーニング」を実施する。母親と子どもとの関係が良好になることで、子どもが安心して自分の気持ちを表現できるようになり、家庭での成功体験の積み重ねが、自己肯定感を高めていく一助となると考える。